

2013 11/26

No.1959

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



横浜・みなとみらい21(MM21)地区の横浜ランドマークタワーにある国重要文化財「ドックヤードガーデン」で7月から行われている「プロジェクト・オン・マッピング」。その第2弾としてクリスマスに向け、ディズニー映画「リトル・マーメイド」を基にしたオリジナル映像が7日から上映。12月25日まで。



政経かながわ

2013 11/26 No.1959

contents

視点・点描	3
「神奈川アマ野球」の底力	
講演録	4
「人と人を結ぶまごころ宅急便 ～クロネコヤマトの満足創造経営」 ヤマトホールディングス株式会社代表取締役社長 木川 眞	
政治	8
危険だらけ秘密保護法案 運用の透明性を高めよ	
国際	10
タイ投資、堅調に推移 産業高度化へ奨励制度見直し	
国際	12
先進国でレジ袋削減の動き 規制強化の中、後戻りも	
くらし2013	14
睡眠と生活習慣に関連性	
広告珍談	16
～うまい物がたり②⑦ むらさきとは？	
NNAアジア経済レポート	17
神奈川景気データファイル	18

事務局だより

◇横浜定例講演会

2013年12月11日（水）

13時30分～15時

崎陽軒本店 5階「マンダリン」

講師は神奈川新聞社論説主幹の中嶋 弘孝氏、共同通信社政治部長の鈴木 博之氏、同社経済部長の谷口 誠氏、同社外信部長の藤井 靖氏
演題は「2014年の動向を読む」

◇横浜定例講演会

2014年1月29日（水）

14時～15時30分

横浜情報文化センター 6階「情文ホール」

講師は全日本男子柔道監督、東海大学講師の井上 康生氏
演題は「夢への挑戦～私の柔道人生」

視点 点描



「神奈川アマ野球」の底力

この秋、神奈川アマチュア野球界で二つの快挙が達成された。大学野球の桐蔭横浜大が横浜市長杯関東地区選手権大会で、高校軟式野球の慶応高が秋季関東大会で、ともに初優勝を飾った。

まず桐蔭大だが、決勝で今春の全日本王者の上武大（関東新リーグ）を2-0で倒し、9回目を数える同選手権で初めて神奈川大学リーグに優勝をもたらした。

この秋、神奈川アマチュア野球界で二つの快挙が達成された。大学野球の桐蔭横浜大が横浜市長杯関東地区選手権大会で、高校軟式野球の慶応高が秋季関東大会で、ともに初優勝を飾った。

まず桐蔭大だが、決勝で今春の全日本王者の上武大（関東新リーグ）を2-0で倒し、9回目を数える同選手権で初めて神奈川大学リーグに優勝をもたらした。

岡部 伸康

そもそも同選手権は、横浜スタジアムを舞台に、関東5リーグによる明治神宮大会予選として2005年に創設された。だが当初は地元的神奈川リーグは苦戦続き。第6回でようやく神奈川大が神宮切符をつかみ、それから毎年代表を送るが、いずれも2位だった。ご記憶の方も多いだろうが、桐蔭大は昨秋、神宮大会で初優勝を飾っている。全国が先になったが、

昨年秋の関東大会で横浜隼人が優勝して以来、今年の春の関東は武相、夏の南関東と全国は横浜修悠館がそれぞれ頂点に立ち、県外の大会で神奈川は無敵だ。そして注目されたこの秋はなんと、神奈川同士の決勝になった。そして驚くのは、この秋を含めて優勝校がすべて異なることだ。

むらさきとは？

おおものは野菜、おすもじは寿司、おでんは田楽、おひやは水のこと。室町時代、朝廷に仕える女官たちがつかった、女房ことばである。醤油は、むらさきと呼んだ。なんと優雅ではないか。うま味と香りまで感じさせる。

ツンベルグはしょうゆをソースに交ぜるといふ。生醤油を掛けるのではないらしい。

獅子文六は「アメリカにいた私の友人は、雇い入れた女中が醤油の盗み飲みをして困ると語った。それも、生のままの醤油を盗み飲みするというのだからよほどの味が、アメリカ人の舌に合うのだろう。でも、フランス人だって、ずいぶん醤油の味を解した。パリのマドレーヌ寺院の近くに、世界

の珍味屋のような店があり、そこで二合ビン入りの醤油を売っていた。値段は高かったが、小豆島製の醤油で、味はなかなかかよかつた」と『食味歳時記』に書く。

ツンベルグと獅子文六の時間差は1世紀ほど、その間に何かがあったらしい。

1875（明治8）年8月の東京曙新聞によると、ヨーロッパでは日本のしょうゆを、腐ったモノと使わなかった。ところがある西欧人が分析、すぐれた調味料と評

価された。ちかごろはヨーロッパ各国で重宝され、とうとうニセモノまで現れたと報じた。

ルイ14世がお好みのJAP S OYAはともかく、現代になって科学的な検査が行われて合格。需要が増えたらしい。

でつくられたニセモノで、こん包も日本製とそっくりであると。

78（明治11）年2月、キッコマンは最初の広告を掲出した。

亀甲萬印醤油はみなさまにご愛顧をいただいておりますが、近頃、偽物が出まわりました。もちろん中身は不良品ですが、焼き印などそっくりに模造され、まことにまぎらわしく、おびただしい量が各地で見られます。そのためフランス製の金箔のレットルを添付しますから、それを目印にお買い求めください。

右端に「告知」とある。「広告」という用語が用いられたのは1872（明治5）年4

月14日の横浜毎日新聞。それ以前は、告知・報告・告白・告条・布告などといった。

（美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住）
（図）キッコマン最初の広告・1878（明治11）年2月掲載

